



市地区連合PTA  
会長 角田輝美さん



市教育委員会  
渡辺俊幸教育長

# 会談 私たちにとって みのかも教育-21 「FROM 0歳プラン」とは

将来を担う子どもたちを育てるために、今学校や地域は何をすべきか  
お尋ねしました (文中敬称略)

宮口 このプランがスタートした経緯や感想をお二人に伺いたいのですが・・・

渡辺教育長 このプランを作った背景には、具体的な実情がありまして。かつて、市内の学校を見て回り、子ども一人ひとりがもっと分かる授業ができないかと思つていた矢先、ある学校で暴力事件が発生しました。

子どもが一人でも怖くて学校へこれないようなことは絶対つくりたくない。また、非行の子どもも見方を変えれば教育の被害者、勉強が分かるようにして、すべての子どもが胸をはって、生き生きと夢を持って社会に巣立つようによつと強く思つたからです。

このプランは、いろんな人の意見を伺い、足かけ2年かけて作りました。

一つ目は、授業の改革です。一人ひとりが分かる少人数学習です。二つ目は、地域の人々が連携してあたる、「面」の指導です。そして、最後につぎつめたのは、「三つ

て、何か元気がないなあと思つたりされることです。

市民の皆さんがこうして学校とかわかることにより、子どもたちに関心を持っていただきたいと思います。

子どもも関心を持ってもらい、多くの人に声をかけてもらうことがうれしいと思つたのです。そういうつながりが、市内に広がればいいと思います。

渡辺教育長 今、地域社会とのかわりということを角田さんが、話されましたが、「地域に」開かれた学校」として、各学校が取り組んでいます。

最初、包丁名人などいろんな名人として山手小学校区の人たちに協力いただいたのが始まりでした。

その後、各学校に広がり、地域の人が学校に関心を持っていただけようになりました。

こうした交流により「学校と地域の連携」が出てきたと思います。そのほか、中学校のボランティア活動など、各学校はそれぞれ「地

子の魂百まで」。0歳からの家庭教育です。その中で、0歳から青年期まで、一貫した長い期間(ロングスパン)の教育をすすめるようということですね。

角田 親として、実感していることは、「子育ての結果が出るのは、子育て中の「今」ではなく、何年後という未来に出る」ということです。

親や大人の都合で、幼時期の子どもは、その子の意に反していて

**どの子ども胸をはり希望をもって社会へ巣立つ  
そのために、地域みんなが「連帯のきずな」で、  
0歳から一貫して子どもを育てるまちをつくりたい**

渡辺教育長

も、連れ回されるのがよくありません。

子どもは、大人のいいなりになつているので、大人はよい子だと思つてしまいます。でも、そういう子育てのツケがまわってくるのが、子どもが成長してからなんです。「あんなにいい子だったのに・・・」って戸惑つるのは親や大人たちですよ。

だから、0歳からの家庭の教育

域との特色ある学校作り」に取り組んでいます。ご存知でしょうか。

角田 太田小学校の「おあいちょうタイム」や蜂屋小学校の「親子野菜作り」、三和小学校の「ホテルの保護育成」などですか。

渡辺教育長 そうですね。市内どの学校も、地域の人たちと一緒になつて学校の特色を今作るうとして

います。

**市民の皆さんが、学校とかわかることで、  
一人でも多くの人が子どもたちに関心を  
持つてもらいたい**

子どもたちはあそこへ行くことにより、自然の体験学習をするだけでなく、文化の森で働いている学習ボランティアの人たちと接することにより、生きた体験学習をしています。

子どもたちの体験文に、それが現れています。

そういう市民の皆さんと接すること、いわゆる「面」の教育ではないでしょうか。

は重要だと思

宮口

今後は、PTAとして

はどのように進められるのでしょうか



角田さん

ただ、教育委員会が主導型では、発展は難しいと思います。地域の皆さんによる活動が、活発になることを望みます。

渡辺教育長 そうです。

角田 今後は、この活動をいかに市民に理解していただき、浸透させていくかが、課題ではないでしょうか。

宮口 今後の活動についてはどのようにされるのですか

渡辺教育長 今月には、市全体のみのかも教育-21「FROM 0歳プラン」推進会議を開催して組織的に活動する予定ですが、各校単位にも推進委員会を立ち上げ、地域の実情に合った活動を推進していただくといいと思います。